

核構造・崩壊データ専門部会
核構造W.G.サブグループ会合議事録

日 時 昭和56年8月5日 13:30 ~ 17:30

8月6日 9:30 ~ 17:30

場 所 原研東海研究所 ヴァンデ棟核物理第1会議室

出席者 喜多尾憲助(放医研), 田村 務(原研)

議 題

。 ^{128}I の ENSDF の検討

^{128}I の核構造データでは, $^{128}\text{Te}(p, n\gamma)$ と $^{127}\text{I}(n, \gamma)$ のデータの間の喰
違いが大きい。とくに (n, γ) 反応で一次 γ 線で直接励起されていることにな
っている 9.9, 19.5, 129.1 keV の各レベルが $(p, n\gamma)$ で見出されていない
点の問題である。Adopted levels には 9.9, 19.5 keV の2つレベルは採
用しないこととし, $(p, n\gamma)$ からのレベルを中心に編集することで作業を
進めた。 J^π , γ 多重度などについてのコメントの改良が一部残ったので,
これらを完了して, ENSDF 128 として提出することになった。